

2024年度 男女共同参画センターにおける「男性対象」
 もしくは「男性にとっての男女共同参画」をテーマとした研修事業 実施後アンケート結果

実施日 2024年12月14日

問1. 今回の研修をどこでお知りになりましたか？	数	コメント
①チラシ	1	配布
②ホームページ(全国女性会館協議会・らびらす・それ以外)	4	
③フェイスブックページ	0	
④全国女性会館協議会メーリングリスト	9	
⑤その他	0	

問2. 今回の研修に参加された動機をお聞かせください。(複数回答可)	数	コメント
①研修内容に関心があるから	12	配布
②担当者(予定も含む)だから	6	
③講義を聞きたいから	4	
④ワークショップに参加したいから	3	
⑤他のセンターや施設の方との情報交換がしたいから	5	
⑥その他	1	男性性がテーマなので

問3. 講座の満足度と感想をお聞かせください						
	大変満足	やや満足	やや不満	不満	不参加	未記入
【講義1】	12人 (92.3%)	1人 (7.7%)	0人 (0%)	0人 (0%)		
【講義2】	12人 (92.3%)	1人 (7.7%)	0人 (0%)	0人 (0%)		
【ワークショップ】	9人 (69.2%)	3人 (23.1%)	1人 (7.7%)	0人 (0%)		
【交流会】	9人 (69.2%)	1人 (7.7%)	0人 (0%)	不満0人 (0%)	2人 (15.4%)	1人 (7.7%)

自由記述

【講義1】

- ・ 男性のしんどさについての5つの視点からの説明がわかりやすかったです。学び落としのフックとなるものが何なのか、もっと調べたり考えていきたいです。
- ・ “非モテ”ワードにもっていた偏見が少しなくなりました。“非モテ”の女子の会はありません。男性と同じように社会から他者からの規範、おしつけプレッシャーがあっても非モテという他者からの関係評価に根ざしたフックはいらない(ない)ように思います。全体に男性の未成熟さ、自己を見つめる力のなさを感じました。また強者男性と安心安全な暮らしがむすびついている新自由主義的な？日本社会全体のゆがみも感じました。“生きづらさ”を理解してもらおう、わかってもらおう、語るところからしかスタートできないのでしょうか。その次は何でしょうか。
- ・ レジユメ最後まで聞きたかったです。「非モテ」の対話テーマに～お酒の席のしんどさ～というテーマはありますか？お酒を飲むと、暴力的になる男性の心の背景が気になります。
- ・ 「女性に対するケア依存」に関して、特に学びが大きかったです。

- ・ 西井さんの実践していらっしゃる活動のお話が興味深かったです。「生きづらさ」をタイトルの前面に出さないなど、具体的なお話が参考になりました。
- ・ とてもわかりやすく、2時間があっというまでした。
- ・ 実際の男性の相談者の方を思い出しながら聞き、納得感がありました。非モテ研で出た実際の声はリアリティがありわかりやすかったです。
- ・ 男性が「非モテ」を切り口にする自分の話をできることに気づいた、というところから、切り口をはっきりさせると集まり語りやすくなるというのは、講座の企画として共感できた。非モテ研究会での詳細を興味深く聞かせていただきました。
- ・ 西井さんの本は拝見していました。内容がとても興味深く、直接お話を聞きたいと思っていました。この活動に至るまでのお話を含め学び多い時間になりました。
- ・ 昨日からの男性性、グループでの講座で知らないこと“身体嫌悪”(マスターベーションへの罪悪感)、ホモセクシュアルパニック(1対1でいるとゲイだと思われる恐怖)など。フェミニストへの応答を求められることにおびえているとか。男性のグループは構造問題が話題に上がらないのか、社会変革に向けての動き(女性運動がしてきたような)がなかったのか質問したかったです。
- ・ 男性学講座の全国での実施状況を聞くことができた。

【講義2】

- ・ 男性相談、脱加害者プログラムが興味深かった(先日RRPの報告会をきいたが、なんで学会なり協議会で1つのパワーになってくれないんだろうと思いました。)男性の生き方としての脱暴力、被害者がいるということ。講義1にもつながるが、男性の弱さに対するケア(病気ストレスor病気)が歴史的に社会的にない社会が日本だと思いました。
- ・ グループの力を再認識できた。
- ・ 学生さんとのやり取りについて、とても興味深かったです。学生のうちに、相手を大切にする(自分自身も)ことを教わることで、うらやましく思いました。
- ・ 全国の男女センターの男性相談を対応している男性相談員に、この講義を受講してもらいたいと思いました。
- ・ 男性の生きづらさの相談と、DV加害者としての相談(協会があいまいなときもあると思いますが)対応を今後、自分のいる地域でどのように進めていくか、課題やすべきことはたくさんあるなと思いました。
- ・ 様々な取り組みを知ることができてよかったです。資料を読みこみたいと思います。
- ・ 男性の相談を受けますが、傾聴で終らず、次にどうつなげるか、情報をもっと取り入れたいと思いました。啓発の大切さも再認識しました。
- ・ 「アンラーン」について、最後の質問で出たエンパワメントとのちがいが印象に残り、わかりやすかったです。
- ・ 昨年自分の働くセンターの男性事業検討会に先生にオンラインでお話しを伺い濃い内容に圧倒されました。その後、おかげ様で男性のための語り場をスタート(試行)しています。家庭教育の大事さ、また「モラハラ」の研修の必要性など頭に残りました。
- ・ 長年の研究・現場での実践が学びになりました。“アンラーン”は耳にしたことがありましたが、どのように使うかわからなかったのも、心に落ちた感じがあります。
- ・ DV加害者に対する更生の現状とその必要性を理解することができた。

【ワークショップ】

- ・ もう少し構造化されたワークであつたらよかったなあと思いました。ちょっとふわっとした感じの設定だったかなと思います。アウトカムベースでロジックをしっかりと考えないと、何が目的なのかよくわからない事業になってしまうように思います。他の男女Cの方といろいろお話ができたのはよかったです。
- ・ 考える手段、方向性がほんとに人によってちがうことがわかった。自分のやり方だけではなく、でもいきなり何をするか、からスタートするのはなあ。

- ・ よい意見交換ができた。
- ・ 同じグループの方たちの意見は視点も違って気づきが多かったです。
- ・ 各センターの方の意見をきくことができ、楽しく学べました。
- ・ 様々な意見交換をしながら、短い時間でしたが、形にしていく行程は学びになりました。
- ・ グループで企画を考えるのは楽しかったです。
- ・ 楽しかったが、時間が…足りなかったです。
- ・ 短い時間でしたが、いつも企画している人たちとまとめていくのは面白い体験でした。自分の無難に着地するクセが出てしまったと感じました。“今までにない企画”とか”コラボ企画”など問いがあっても良いのではと思いました。
- ・ 各施設の職員から多様な意見をもらいながら作業員ができました。

【交流会】

- ・ いろんな方と話せてよかったです。情報交換のよい機会になりました。
- ・ 有意義な時間を過ごせました。
- ・ 各センターの男性対象事業を聞いて大変参考になりました。
- ・ もう少し多くの方とも話せれば…と。(時間不足で)
- ・ もっと時間がほしかったですが、席かえもあってよかった。
- ・ 準備・運営などお疲れさまでした。同じ職員でもキャリアのちがう方と話せて新鮮でした。
- ・ 楽しかったです。とても勉強になりました。
- ・ お茶、お菓子は嬉しかったです。
- ・ 飛行機の時間があるので、参加できませんでした。

問4. 知りたいと思った情報を知ることができましたか。	数
① はい	13
② いいえ	0

問5. 新しい見方や考え方を知ることができましたか。	数
① はい	13
② いいえ	0

問6. 課題解決の糸口が見つかりましたか。	数
① はい (少しを含む)	11
② いいえ	0
③ わからない	1
④ 未記入	1

問7. 今後の男性対象事業において、何をしたいか、何をすべきが明確になりましたか。	数
① はい (少しを含む)	11
② いいえ	0
③ わからない	1
④ 未記入	1

問8. 今回の研修の成果の活用方法や感想などご記入ください。(自由記入)

- ・ 他のセンターの方とお話できてよかった。また参加します。
- ・ 男性向け相談や事業にいかしたい。
- ・ 男性相談(生きづらさ、DV加害)の実施、相談員養成。県内でどのような体制でやっていくか、予算確保が大きな検討事項。有毒(有害)な男性性に気づく話し合いの場を持つ。以上 2

つが方向性と思うので、行政とセンター内部話し合いしながら進めたいです。

- ・ 講義で学んだこと、他センターの方の取組み、など、今後の講座に役立てたいと思います。
- ・ これから計画している講座について、今日の学びを活かしたい。
- ・ 現在試行中の事業に役立てるヒントを見つけました。検討したいと思います。
- ・ 男性運動・メンズリブが女性運動・ウーマンリブと違うものだったということがはっきり分かったことが成果です。事業や企画には

問9. 差支えない範囲で、ご回答ください。

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
【講義1】	0人 (0%)	0人 (0%)	1人 (7.7%)	5人 (38.5%)	5人 (38.5%)	2人 (15.4%)

性別	女性	男性	回答しない	未記入
【講義1】	9人 (69.2%)	3人 (23.1%)	0人 (0%)	1人 (7.7%)

所属	男女共同参画センター職員	行政職員	その他
【講義1】	12人 (92.3%)	0人 (0%)	1人 (7.7%)

居住地
神奈川県×2、東京都×5、千葉県、福島県、岩手県、青森県、長崎県